

九州スクールオブビジネス メークアップアーティスト科

この夏のこと

夏休みの1ヶ月前から、飛行機の値段を見たり、ホテルを探したり、どんな場所に行きたいかをインターネットで探し、夏休みの計画を立てました。そして、平成26年8月7日、日本での冒険が始まりました。最初の場所は茨城県のおばさんの家でした。そこまでは、福岡空港から成田空港まで飛行機で行きました。田舎なので、20分歩いたら町を全部見ることができます。おばさんは、とても私を可愛がってくれて、毎日、美味しい物を食べさせてくれて、アイスクリームも山ほど買いこんでくれました。そのせいか、夏休みの始めの段階で、早くも太り始めました。お盆の日は、お墓参りに行って、埼玉県の親戚の家に行きました。私はキリスト教徒なので、お盆は初めて参加しました。お盆の意味がわかって、感動しました。仏壇を綺麗にして、花や果物や和菓子や、先祖が好きな食べ物などを飾ったり、きゅうりとなすで馬と牛を作りました。馬は祖先が早く戻りますように、そして牛はゆっくり帰りますようにという意味を表すということを知り、とても感動しました。その日は一日、お線香をあげて先祖にお祈りをしました。親戚と先祖の話思い出して、寂しさと嬉しさの両方を感じました。私は祖父のことをあまり覚えていないので、母の従兄弟は祖父が書いた手紙を見せてくれました。初めて祖父の字を見たときに、私が感じた嬉しさを言葉では書き表せません。埼玉県の後には横浜市に行きました。両親の友達にお世話になりました。砂の彫刻展を見たり、横浜中華街で美味しい食べ物をごちそうになりました。

私は、以前にも日本に来たことがありましたが、富士山を近くで見たことがなく、登ったことがありませんでした。ですから、今回登りたい気持ちが強かったのですが、体力がもつかどうか不安がありました。しかし、県費留学生の重エリッキ君が私に勇気をくれました。そして、8月16日にエリッキ君と富士山に登りました。夕方、河口湖からバスに乗って5合目まで行きました。高地の空気に慣れるために1時間待ちました。夜の8時に登り始めました。温度は24度で、気持ちいい天気でした。空はとても綺麗で星がたくさん出ていて、流れ星も見ることが出来ました。それだけでも登る価値がありました。どんどん登るにつれ寒くなってきて、服をさらに着こみました。ゆっくり登ったら、辛くないし、高山病も無かったです。8時間かかって、朝の4時に9合目につきました。その時の景色は凄かったです。山頂から雲だけが見えて、空を飛んでいる感じでした。そして1時間半、日の出を待ちました。とても寒くて、風が強くて、インターネットで調べたら気温は4度でした。でももっと寒く感じました。どんどん明るくなってきて、その時はまだ太陽が見えていませんでしたが、太陽の光が見えてきて、とても綺麗でした。午前5時過ぎに、日の出が始まりました。その綺麗さを初めて見て、日の丸「日本」の意味がわかった気がして、感動しました。日の出を拝んだ後、とても寒くて暖かい物が食べたくなりました。人生で一番高いカップ麺を買いました。600円でした。でも、幸せを感じました。その後、山を降り始めました。太陽の日差しが強くて、下山も辛かったです。その時、「富士山に登るのは、人生の中で1回だけにしよう」と思いました。降りるのは5時間かかって、その後、温泉に行きました。自分へのご褒美でした。

次の日は、エリッキ君と青春18きっぷで京都市まで行って、それから一人で兵庫県まで行きました。全部で14時間かかりましたが、2300円くらいしか、かかりませんでした。

た。兵庫県には代父（カトリック教での）がいます。みんなに可愛がってもらって、お世話になりました。大阪城や梅田スカイビルやあべのハルカスなどへ行きました。アメリカ村も行きましたが、有名なグリコのゴールインマークが修理中で、がっかりしました。その日は、3年前のブラジルからの県費留学生と会いました。彼の名前はアキラ君です。たくさん話をして、とても楽しかったです。代父と家族は神戸市と和歌山市のいろいろな場所に連れて行ってきて、とても感謝しています。

次に行った場所は広島市です。代父と新幹線で行きました。広島城や縮景園に行つて、とても綺麗でした。それから、広島平和記念公園に原爆ドーム、原爆の子の像を見に行きました。すごく辛くて心が重くなりました。原爆死没者慰霊碑に記された文、「安らかに眠って下さい。過ちは繰返しませぬから」はとても心を打たれました。そして広島平和記念資料館に行くと、悲しくて涙がぼろぼろ出ました。それと同時に、人間は自身が追い詰められた時に、どこまで残虐でいられるのか怖くなりました。広島平和記念資料館には、広島市が各国に送った、全ての抗議文が壁の両面に貼られていました。抗議文の内容とは「歴代の広島市長は、1968年から、各国の核実験に、そのつど抗議文を送り続けてきました。毎回、これが最後の抗議文になることを願いながら。」といったもので、2013年10月30日現在で606通を送ったそうです。写真を見たら、人々の辛さを感じ、私は広島県の思いに共感しました。

次の日、宮島に行きました。そこには、とても素晴らしい神社があり、すごかったです。宮島の名物はアナゴ丼で、有名なレストランで1時間半待ちました。とても美味しくて、待った甲斐がありました。

最後の場所は別府市でした。叔父さんの家にお世話になりました。のんびりしていて、この夏休みの疲れがとれ、リフレッシュできました。海のまえにある温泉に行きました。とても気持ち良かったです。最後の日は東椎屋の滝に連れて行ってきて、とても綺麗でした。

また、子弟招へい事業に参加する機会を与えて下さった事に感謝しています。この経験のおかげで、私は様々な国の人々と出会うことができました。そして、日本の文化だけではなく、色々な国の文化を学んだり、友達を作ったり、たくさんの良い思い出を作る事ができて、とても良かったです。毎日忙しかったけど、新しいことを覚えて、勉強になりました。子ども達は言葉が分からなくても、お互いが友達になりたいという気持ちがあつて、ジェスチャーと会話で頑張つて分かり合おうとしていて、感動しました。いつか子ども達と引率者達とまた会いたいと思います。

この夏休みは最高でした。お世話になった皆さんに感謝しています。

ブラジル福岡県人会  
行徳 さゆり ミリア

福岡大学スポーツ科学部

## この夏のこと

私の今年の夏は、思い出に残ることが沢山あってとても楽しかったです。

まずは子弟招へい事業です。さまざまな文化や経験をしたことは、とても勉強になりました。子供達と一緒に体験をしたり遊んだりするのが、とても良い思い出になりました。子供達が来る前は、どんな子供が来るのか、どのように行動したら仲良くなれるのかを考えていて少し不安でした。でも子ども達は私が思ってた以上にとっても元気で、明るくて頭の良い子ども達でした。私にとって、この事業は興味深いものでした。福岡県の知らなかった歴史や場所、国や文化の違い、子供達の生活、それぞれの国の県人会の活動がどのようになっているのかが少しわかった気がしました。一番印象に残ったのは、一人の子弟が「ぼくは帰ったら日本語をもっと勉強して、留学生になってまた日本にもどりたい。」と言ったことです。私はとても嬉しく思いました。このプログラムに参加して、とても良い思い出ができました。国際交流センターの皆さんやブラジル福岡県人会にとっても感謝しています。

7月の下旬から8月の上旬には、バレエの発表会と宝塚歌劇団を見にいったり、家族会の方達に行徳家の祖先が住んでいた場所を案内していただいたり、東京でバレエ教育のセミナーにも参加したり、大学で先生の論文や新体操部の練習のお手伝いにも行ったりしました。

私の誕生日には、県費留学生のみんなと久留米の花火大会へ行きました。女子は浴衣姿で、とても素敵でした。雨が降ったのが少し大変でしたが、花火はとても迫力があって美しかったです。本当に思い出に残る誕生日でした。

8月21日には大分県へ行きました。そこには、10年以上会ってない従兄弟が住んでいます。別府で待ち合わせをして、従兄弟が車で観光地の別府地獄めぐりとサンリオキャラクターパークハーモニーランドに連れていってくれました。名物のとり天と、夜は焼肉を食べました。昔話をしながら過ごした一日で、とても楽しかったです。

その次の日から12日間は、東京に行きました。東京スカイツリーに上ったり、従姉妹と東京ディズニーシーと藤子F不二雄ミュージアムに行ったり、お台場（フジテレビ本社ビル）、六本木ヒルズ、新宿、原宿（竹下通り、明治神宮）に行きました。東京滞在中で、一番思い出に残っているのが、9年ぶりのJICA研修生との再会です。横浜の桜木町駅で待ち合わせをして、JICA横浜海外移住資料館にいきました。私達が研修生の時は、そこはまだ完成していなかった場所です。見学しているときに、一人のおじさんが移住のことを一生懸命話をしてくれて、とても勉強になりました。その後、お昼ご飯を食べながら思い出話をしました。ご飯の後、八景島シーパラダイスに行きました。そこは研修の時にみんなで遊びに行った思い出の場所でもあります。動物のショーや、人気のマンボウを見ました。最後にトリックアート美術館に行って、また12月に会う約束をしました。とても楽しい一日でした。東京にいる間の30日と31日は、おじさん達が栃木県に連れていってくれました。そこではいろいろな観光地に行きました。ゆば(湯葉)も食べました。一番楽しかったのが温泉と、那須のオルゴール美術館でした。美術館では自分専用のオルゴールを作りました。

9月1日に福岡へ帰り、3日には大阪へ行きました。幼なじみが大阪に住んでいて、いろいろな観光地に連れていってくれました。到着した日には、奈良県に行って東大寺を見に行きました。そこには鹿が沢山いました。

その次の日には、ユニバーサルスタジオジャパンに行きました。雨が降ったのが少し大変でしたが、アトラクションは全部楽しかったです。夜にはアニメのワンピースのショーを見てとても盛り上がりました。帰りには1000円均一の焼肉屋さんに行きました。残りの2日間は大阪城、大阪海遊館、通天閣、空中庭園展望台、道頓堀に行きました。そして名物のたこ焼、串かつとお好み焼きを食べました。

この夏は、いろいろな体験や場所に行くことができ、良い気分転換が出来ました。今後のことも頑張れる気がします。

ブラジル福岡県人会  
行徳 政士 ロニー

九州造形短期大学造形芸術学部

## この夏のこと

「素晴らしい夏をありがとう！バリ幸せです！」と叫びたいぐらいこの夏は楽しかったです。この2ヶ月はいろいろな体験が出来て、一生忘れることのない思い出ばかりでした。寮のみんなとの楽しい思い出、大学の友達と過ごした時間、家族会や国際交流センターのイベント、そして僕自身が見た日本、その全てがとても楽しかったです。

この夏は、寮のみんなといろいろな思い出を作りました。まず、夏が始まってすぐにAEONイオンで行われたきゃりーぱみゅぱみゅの宣伝ライブを見に行きました。このライブは無料でしたがチケットに限りがあったため、朝早くに並んで何時間も列で待ちました。その日は20分ぐらいのライブを、傘を差さずに雨の中で見ました。結局はびしょ濡れになりましたが、きゃりーぱみゅぱみゅが生で歌っているのを少し見れて良かったと思います。

夏の暑さを乗り越える日本ならではのやり方といえば、怖い映画を見ることだと思って、夜中に留学生達数名で「世界の怖い夜！真夏に震える恐怖の絶叫SP」という番組を見ました。あまりの恐怖で、みんなで後半を見るのを諦め「はじめてのおつかいSP」を見て、その夜は終わりました。他にも暑い夏を乗り越える方法として選んだのは、エアコンがある場所に遊びに行くことでした。それで何人かと映画館に行って「ドラえもん STAND BY ME」を見ました。この映画はフル3DCGで、新しいドラえもんを見ることが出来ました。ストーリーはとても感動的で、本当に“ドラ泣き”をしてしまいました。それ以外には、海ノ中道のサンシャインプールで一日中泳ぎました。他にもこの夏は寮に友達を呼んで料理を作りました。その日のメニューは、美味しい中国の辛い鍋と自家製水餃子でした。

大学の友達とも、この夏をいっぱい楽しみました。陶芸の前期の授業の最終日は、もんじゃ焼きパーティをしました。先生が食材などを買って、クラスメイトの1人が実家の電気鉄板を持ってきました。僕はそこで初めてもんじゃ焼きを食べました。そしてクラスメイト達といっぱい会話が出来て楽しかったです。

大学の同じ研究生仲間の個展の準備も手伝いました。その友達は橋本環奈の大ファンで、僕も一回はアイドルのライブに行ってみたいと言っていたので、彼がそのアイドルが所属しているグループ「Rev. from DLT」の無料のライブに連れて行ってくれました。ライブも面白かったけれど、それを見ているファンたちのほうが、もっと面白かったです。アイドルオタクの応援は激しくて凄かったです。

9月には、九州造形短期大学とRKB毎日放送の番組「みんなの青春のぞき見TV TEEN! TEEN!」のコラボレーション企画で、僕のアニメーション作品が9月1日に放送されました。たった30秒ほどの作品でしたが、すごく嬉しくて、最後のテロップに僕の名前が出たときは感動しました。

福岡の伝統的な夏を存分に楽しめたのは、家族会の方々のおかげだと思います。家族会の方たちが僕たち留学生のために、福岡県でこの時期にしか経験できない企画を準備してくださり、心から感謝を申し上げます。

北九州で行われた「わっしょい百万祭り」に連れて行ってもらいました。そこではスケジュールの一つ、わっしょいYOSAKOI北九州の結果発表と、最後のグループ全

員での踊りを見れました。とても素晴らしい踊りで、みんなとても元気に踊っていました。その後、その日のメインイベントの「夏まつり大集合」がありました。とても迫力のあるイベントでした。参加者は皆、雨の中、気合いいっぱいその企画を盛り上げました。久留米で行われた花火大会は、とても素晴らしい花火が見れました。その日は留学生以外の友達も呼べて、とても楽しかったです。女子たちの浴衣姿はとてもきれいでした。花火は家族会の方々が、とても良い場所をとってくれたので、きれいな花火がとても良く見れて満足な一日でした。

子弟招へい事業は、とても思い出深い企画でした。いろいろな国からきた子供たちや、引率者との出会いは一生忘れません。この方々と過ごしたことで多くのことを学べました。その中で一番印象に残ったのは、それぞれの文化の特徴や違い、そして子供たちに秘められた可能性です。文化の違いによって、それぞれの性格や考えの違いが現れました。そして自分達の母国について語り合うことは、とても興味深く、面白いなと思いました。もう一つ、このプログラムで感じたことは、どんなにお互いの文化が違って言葉が通じなくても助け合い、そして一緒に楽しめるということです。それは、子供達が証明してくれました。留学生同士の絆ももっと深まったと思います。皆で一緒に行動し、助け合ったことでお互いをもっと認め合い、自分自身をもう一度見つめあうことが出来ました。

福岡を少し離れ、僕と姉は大分県の従兄弟に会いに行きました。従兄弟とはもう10年以上会っていなかったもので、再会できて嬉しかったです。お互い性格は、あまり変わっていませんでした。この旅行では別府の有名な温泉「地獄めぐり」をしました。そこではいろいろな温泉があって凄かったです。最後は3人で焼肉を食べに行って、いろいろと会話をして、その日に福岡へ帰りました。

また、姉と東京に住んでいる親戚の家へ遊びに行きました。10日間でいろいろなことが出来て、本当に良かったです。東京についた時の初めての印象は、人の多さと、電車の乗換えが福岡より複雑で大変だったことです。東京でいろいろな所へ行きました。東京スカイツリー、東京ドーム、秋葉原、お台場、原宿などいろいろな場所に連れて行ってもらいました。中でも一番楽しかったのは、もう1人の従姉妹と行った東京ディズニーシーです。そこではいろいろなアトラクションも楽しめたり、買い物も出来ました。そして、フィナーレの水の上で行われた光り輝くショーは最高でした。そのショーでは、いろいろな技術や演出が使われ、本当に凄かったです。「さすがは夢の国だ！」と思いました。東京旅行中に、親戚たちと2日間だけ栃木に行きました。そこで初めてホテルで露天風呂に入りました。栃木では、テディベアミュージアムとりんどう湖 LAKE VIEW ファミリー牧場に行きました。その牧場の帰りに気がついたのが、20年前に僕は昔親が録画してくれたビデオでこの牧場のCMを見ていたということです。そのCMの曲は印象的で、今でもほんの少し覚えています。

東京から帰った後は、大阪へ行きました。そこではブラジルの友達が留学生として来ていたので、3日間そこで泊めてもらいました。大阪旅行では海遊館（水族館）、大阪城、新世界、通天閣、そして奈良にも行きましたが、一番の目的はユニバーサルスタジオジャパンに行くことでした。ユニバーサルスタジオジャパンに行った日は平日で、しかも9月だったのでそんなに人は多く無かったので、いろいろなアトラクションにのることができました。その中でも一番面白かったのは、新しくオープンしたハリポッターのアトラクションでした。でも最後のワンピースのショーが僕にとっては、その日のメインですごく楽しかったです。嬉しすぎて涙が出そうでした。この夏はいろいろな体験が出来て、今年日本に来ることができて、本当に良かったと心から思いました。

「素晴らしい夏をありがとう！バリ幸せです！」

## この夏のこと

日本へ行く前に、すでに日本に行った事がある人から、「ブラジルの夏より日本の夏のほうが暑い」と言われました。日本でも、日本人の友達から「梅雨の後で夏になって、本当に暑くなる」と言われました。それは全部本当でした。7月中旬からすごく暑くなりました。温度も高いのですが、最大の問題は湿度です。蒸し暑いせいで、温度が実際よりもっと高く感じるので、大変です！しかし、7月の子弟招へい事業と8月の旅が素晴らしい経験だったので、夏は最高の季節です。

子弟招へい事業は、ほぼ2週間あって、福岡県の様々な観光地へ行きました。プログラムのスケジュールは、たいてい朝から夜までだったので、毎日疲れましたが、すごく良くて、面白かったです。たぶん子弟招へい事業がなかったら、こんなにいろいろな場所へ行かなかったと思います。自動車の工場を見学したり、ラーメンの工場でラーメンの麺を作ったり、博多祇園山笠を見たりしました。たくさんの経験をしました。そして、子供達と引率者と出会えたのは大切なことでした。プログラムが始まる前は、僕では12歳ぐらいの子供の担当はつとまらないと思っていましたが、始まった後は、すぐに子供達のことを気に入りました。最初に考えていたのとは反対で、子供達の担当は本当に面白くて、楽しかったです。僕は、自分が子供のことが好きだということを知りました。子弟招へい事業の中で一番貴重だと感じたことは、出会った人達です。皆の顔つき、文化、母国語は違いますが、ルーツが同じです。両親、祖父母、曾祖父母は福岡から来ました。だから同じルーツを持つ子供、引率者、日本人、留学生が会うのは、魅力的なことです。参加した人達も私と同じように、何か学んだと思います。そして、子供達は日本が大好きになったと思います。僕達留学生と話をして、県費留学生として、日本に1年間留学することに興味が生まれたと思います。

子弟招へい事業が終わった後、少し寂しくなりました。そして、すぐに大学の授業が終わって、夏休みが始まりました。しかし夏休みに入ると、もっと忙しくなりました。僕は授業がなかったので、研究室の皆が取り組んでいる実験を手伝いました。たいてい、実験は9時から18時まででしたので、疲れることが多かったです。研究室の人の研究はコンクリートについてなので、実験はほとんどコンクリートを作って、試験をすることでした。僕は8月になって、休みを取りました。

ブラジルには日系人が多いので、日本へ留学する人も多いです。留学から戻った人達が集まって、協会を作りました。ASEBEXと言う協会で、毎年1月にその年の留学生と研修生のために、講習会を行います。講習会の目的は、参加する人に日本文化や、生活、勉強などのヒントを教えることです。ほかには、日本へ行く前に同じ年に日本に行く人達と会って、友達になって、グループを作ります。そのグループは、日本にいる時に皆が互いに助け合ったり、イベントをおこなったりします。今年8月に協会のイベントが三つありました。8月2日～3日は岐阜県でブラジルのバーベキューイベント「Churrascada de Gifu」、8月13日～14日は宮城県で東日本大震災の被災地の見学、8月16日は富士山に登るイベントがありました。私は三つのイベントを手伝って、参加したので日本のすべての地方を巡りました。ほとんど電車で旅行をしたので、青春18きっぷをよく使いました。2000キロ以上旅をして、11の町に泊まりました。ASEBEXのイベントの時には友達と会いましたが、ほとんどは1人で旅をしました。日本はすごく安全で、インターネットが使えるスマートフォンを持っているので、困った事はあまりありませんでした。たまに寂しかったけれど、旅行中はすごくいい人に出会って、友達もできました。この旅行は本当に素晴らしかったです。日本文化や歴史や建築などを学んで、地方の名物や、食べ物や、建物や、人のスタイルなどが違うことに気付きました。山や海や町、いろいろな綺麗な風

景も見て、感動しました。日本は小さい国ですが、大都市も田舎も、どこでも面白いことがあります。まだ行きたい場所がたくさんあるけれど、残りの6ヶ月以内に行かなければなりません。今までたくさん良い経験をしました。このレポートを書く前に、子弟招へい事業と旅行の写真を見て、その時のことを思い出して、あたたかい気持ちになりました。大切な思い出を絶対に忘れません。このような機会を与えてくださり、本当にありがとうございました！



ペルー福岡クラブ  
タケシタ クリスティ

九州産業大学芸術学部

## この夏のこと

今年の夏休みは、素晴らしい経験ばかりでした。1ヶ月で、色々な場所に行って、日本文化をたくさん学びました。少し短かったけれど、この経験は一生忘れません。すてきな経験でした。

7月11日から22日まで子弟招へい事業がありました。私にとって、このプログラムは素晴らしい経験となりました。このプログラムのおかげで、色々な国の福岡県人会の人達と出会い、皆と一緒にたくさんの体験をすることができました。私にとって、一番楽しかったことは、那珂小学校に行った事でした。言葉がよく分からなくても、日本人の子どもと県人会の海外の子ども達同士は、すぐに仲良くなりました。私達も子どもの時に戻ったように、一緒に遊びました。皆とても良い子供達で、この一週間で私達留学生は、子供達や引率者と仲良くなり、毎日一緒に楽しく過ごすことが出来て、とても良かったです。あつという間に、日にちが経ちました。皆がもっと長く福岡県に残ってくれたら良かったのにと、今でも思っています。お別れの日、皆静かで、とても寂しかったです。

夏休みが始まって、8月11日から8月21日まで、友達と一緒に日本の本州を旅行しました。初めの4日間は、大阪に行って、県費留学生の黒木なつみさんの親せきの家に泊まりました。たいへんお世話になりました。最初の日、和歌山のポルトヨーロッパへ遊びに行きました。それは、小さいテーマパークで、ヨーロッパ風の場所で、とくにイタリアやフランスにいるような感じで、日本にいる気がしませんでした。

大阪では、大阪アクアリウム海遊館と大阪城にも行きました。大阪城はこの旅で1番初めに見たお城で、たぶん私が1番好きなお城です。その夜、神戸に行って、神戸タワーに上りました。景色がすごくきれいでした。大阪では、ユニバーサルスタジオジャパンにも行きました。この旅で一番おもしろかった場所でした。ユニバーサルスタジオジャパンに着いてすぐにハリポッターエリアのチケットをとりましたが、入るのに8時間ぐらいかかりました！夏休みなので人が多くて、並ぶ列は長かったけれど、乗り物はとても楽しかったです。ほんとうに皆で楽しく遊びました。私はハリポッターのファンなので、もう1度行けたらいいなと思っています。

奈良にも行きました。奈良は1番すきな場所です。旅行の前、奈良のことは何も知りませんでした。ただ、鹿のことは聞いていました。奈良に着いた時は、びっくりしました。すごくきれいな場所でした！始めに見たのは鹿でした。鹿はかわいいけれど、あまりなついてくれません。1番素晴らしかったのは東大寺に行って、初めて世界一大きい大仏様を見たことです。

奈良に行ったあとは、1日半京都に行きました。大文字焼きの日に着きましたが、その日は雨がふったのであまり見えませんでした。京都では、金閣寺や清水寺や東映太秦映画村にも行きました。東映太秦映画村は、侍と忍者の恰好をした人や、映画の道具がありました。初めてしゅりけんを投げました。易しそうだけれど、とても難しかったです。

す。金閣寺では、小さな金粉が入っている抹茶を飲みました。とても美味しかったです。京都の歴史はすごいです。観光地を全部見る時間がなかったので残念でした。

そのあと私は名古屋に行きました。名古屋では、9年間会っていなかった親戚と会いました。9年前ペルーで会った時はとても小さかったけれど、今は私と背の高さが同じくらいになっていました。一緒に過ごした時間は短かったけれど、名古屋でトヨタ博物館や名古屋城に行って、とても楽しい時間を過ごしました。

最後の日、静岡県まで富士山を見に行きました。くもりだったので、あまり見えなかったのが残念でした。あとで聞いたのは、夏は富士山を見に行ってもあまりよく見えないう事でした。けれど、ちょっとだけでも富士山を見る事ができたから、行ってよかったと思いました。皆で楽しく旅行できたので、それが最高でした。

この旅のあと、身元保証人の森さんと一緒に長崎県に行きました。ハウステンボスに行きました。オランダにいるような感じでした。素晴らしく大きな所で、全部がヨーロッパ風です。次の日は長崎市内に行って、日本で初めできたチャイナタウンに行きました。出島、長崎護国神社とグラバー園へも行きました。長崎にこんなにヨーロッパ（とくにオランダ）の影響があるとは知りませんでした。

最後に、9月3日から3日間、アメリカのコロラドの親戚が4人、福岡まで来ました。皆で、福岡にいる親戚たちに甘木まで会いに行きました。曾おじいさんが住んでいた場所や、お寺にも行きました。アメリカと日本の親戚が皆一緒に集まって、同じ私たちの家族のことを話したことは、この先すごく大切な思い出になると思います。ほんとうに楽しい1ヶ月でした。

コロンビア福岡県人会

エルナンデス 黒木 なつみ バネッサ

折尾愛真短期大学経済学部

## この夏のこと

今年の夏休みは、いろいろなところへ行って、美味しい食べ物もたべて、とてもおもしろかったです！

子弟招へい事業では、福岡で日本の文化を勉強するためにきた参加者にとって、忘れられない経験になったと思います。このような経験は、世界中に住む色々な年齢の人達に、日本の現在や、昔からの文化を伝えるために、すごく重要な事です。参加者の子供達と一緒に過ごしていて面白かったことは、違う国の言葉話す子供達が、お互いの事を、まるで同じ言葉話す仲間のように興味をもち、接しようとしていた事でした。

8月は花火をはじめてみました。家族会の方と私達は、久留米と大濠公園の花火をみにいきました。きれいでした!!

8月12日から大阪に行きました。私の県費留学生の友達、津留アナパウラさん、棚町ヘラルド君とタケシタクリスティさんと一緒にこの旅行をしました。私の家族に会いました。12年ぐらい前から全然会っていなかったのも、とても嬉しかったです。コロンビアの友達にも会いました。コペテさんです。今年から日本に留学生として来ていますが、コロンビアで日本語の先生として働いていました。この旅行を一緒にしました。大阪へ行って、たこやきが好きになりました。やっぱり大阪はたこやきやおこのみやきが1番です。すごくおいしかったです。大阪でいろいろな場所へ行きました。たとえば大阪城、水族館、観光船のサンタマリア号でクルーズをしました。大阪の旅行では、ユニバーサルスタジオジャパンが1番良いところでした。ジュラシックパーク、バック・トゥ・ザ・フューチャー、ウォーターワールド、ハリー・ポッターなどです。

伯母と一緒に和歌山県のポルトヨーロッパへ行きました。本当にヨーロッパにいるみたいで、おもしろかったです。そのあと、大阪のちかくを旅行しました。神戸へは、いどころと一緒に水のショーをみにいきました。神戸ポートタワーへも行きました。1日だけ神戸にいました。

次に奈良の奈良公園にいきました。そこで一番良かったことは、いっぱい鹿がいたことです。

京都市では、アナパウラさんの友達に会いました。彼の家に私達は泊まりました。彼のメキシコ人の友達と友達になりました。京都で新しい友達ができました。京都は、きれいな街です。他にもいろいろなところへ行きましたが、金閣寺はすごかったです。

名古屋もきれいな街でした。私たちは、名古屋に2日間泊まりました。名古屋城、大須観音、名古屋市科学館などへ行きました。名古屋では名古屋市科学館が一番良いところでした。ここでは、「ドラゴンボールで科学する！」の展示をやっていました。ヘラルド君はドラゴンボールが好きらしいです。その展示はおもしろかったです！

静岡にも行きました。音止めの滝と富士山を見に行きました。その日は良い天気でしたが、富士山はあまり見えませんでした。ですので、また行きたいです。

今月は、福岡に住んでいる友達のゆうせい君と一緒に旅行をしました。佐賀で、ゆうせい君の家族に会いました。ゆうせい君のご両親は親切な人です。唐津の呼子で魚とイ

カノ生き造りをたべました。とてもこわかったです。広島の平和記念公園へいきました。  
広島風のおこのみやき食べました。すごくおいしかったです。

9月22日には、学校が始まります。がんばります！ありがとうございました。

在ボリビア福岡県人会  
川波 直美

九州観光専門学校カフェ&スイーツ科

## この夏のこと

まず、7月11日からの12日間、子弟招へい事業が行われました。今日から12日間、毎日行事があるのかと考えると正直、きついなと思っていました。でもその考えは、間違っていました。きついどころか、子供達と遊ぶのが楽しくて、賑やかで毎日が過ぎるのがとても早かったです。この事業で、笑ったり泣いたり色々ありましたが、沢山の友達を作ることができました。事業は終わってしまいましたが、いい思い出として皆の心の中に残っていくと思います。

夏休みの間、姉、おじさん、ボリビアの友達に会いに横浜へ行きました。一人で旅行をすることに慣れていないので、三女の姉が羽田空港まで迎えに来てくれました。横浜に居る間は、三女の姉の所にお世話になりました。姉と会うのは4ヶ月ぶりでした。その日は映画館に連れて行ってくれました。「思い出のマーニー」というジブリのアニメを見ました。日本では初の映画館でした。次の日は、夕食にバーベキューを食べました。姉が働いている会社の友達とのバーベキューで、私が横浜に居ることを聞いていたので、私も誘ってくれました。皆とてもいい人で、初対面でしたがたくさん話をする事が出来ました。二女の姉は、美容師の友達がいたので「MILKY WAY」という美容院に連れて行ってくれました。夏の暑さに耐えられなく、髪を伸ばすはずの私は、バッサリ髪を切り、おまけに人生初のパーマをかけました。見慣れない自分が鏡に映っていて、少し恥ずかしかったです。

姉達は仕事があるので、出かけるのは週末でした。一週目の週末は、横浜みなとみらいに行きました。「砂の彫刻展」は、日本・中国・韓国の作家によるもので、迫力ある作品でした。二週目は、東京「Madame Tussauds マダム・タッソー」に行きました。ハリウッドスターやスポーツ選手など、世界のセレブの等身大フィギュアがいっぱいの体験型アトラクションです。本物ではないのですが、隣に立って写真をとるだけでテンションが上がります。私は、本人と居る気分になりました。「横浜恐竜展」にも行きました。トリケラトプス、ヒパクロサウルス、ティラノサウルスなど色いろな恐竜が展示されて、それぞれの恐竜の鳴き声もきけました。清水公園にも姉妹揃って行き、清水公園フィールドアスレチックでは、普段と少し変わった体験をしました。小さい頃からおてんばだったので、久しぶりに木登りをしていた子供のころを思い出しました。他にもマス釣りもしました。釣ったマスをその場で、焼いて食べれます。東京スカイツリーに

も行きましたが、曇っていたので周りの景色がハッキリ見えませんでした。でも目の前で見たスカイツリーは凄く大きくて、曇っていた中で、上から見下ろす東京の景色は最高でした。それから東京ディズニーランドにも行きました。夏休み中だったので、どこに行くにも人が沢山いました。アトラクションに乗る時は、一番長くて1時間は待っていました。でも乗り終わった後は、長い間待つて良かったと思いました。ディズニーのキャラクターとも写真をとることが出来ました。夜には、パレードとシンデレラ城でのプロジェクションマッピングも見ました。とてもワクワク感と感動が残りました。沢山歩き回ってヘトヘトでしたが、最高に楽しかったです。

ボリビアの友達とも、久しぶりに会うことが出来ました。皆それぞれ仕事やアルバイトで忙しそうでしたが、時間を作ってミニボリビア集会をしました。カラオケに行って、着いた時から解散するまで笑いばかりでとても賑やかでした。ボリビアの友達に囲まれて、少し国が恋しくなりました。私が研修に来る時に、ボリビアから一緒に旅行をした友達とも会うことが出来ました。今回は旅行では無く、一緒に「横浜八景島シーパラダイス」に行きました。お互い場所がはっきりとどこにあるのか分かりませんでした。でも一緒に日本に来た仲なので「シーパラダイスの行き方も何とかなる！」の気持ちでいきました。無事に着き、早速心臓が飛び出そうなアトラクションを2回続けて乗りました。キーンキーン叫んで大声を出してスッキリしました。水族館にも入りました。その後大好きなイルカのショーも見ました。イルカは何回見ても飽きないです。最後にまたいつ会えるか分からないので、友達と一緒に思い出にプリクラをとりました。福岡に戻る一日前に、長年会っていなかったおじさんの家族に会いました。そして一日ドライブに連れて行ってもらいました。親戚の美佳ちゃんにも会いました。美佳ちゃんとは彼女が4才の時に会ったきりでした。私は覚えていましたが、美佳ちゃんはまだ小さかったので私の事を覚えていませんでした。その日は、話したり笑ったり写真をとったりしました。一緒にイルカとシャチのショーを見ました。お互い行動は一緒でしたが、知らないところでプレゼントを買っていました。最後に別れる時にプレゼントのことに気付きました。美佳ちゃんとまた一つ思い出が出来て嬉しかったです。その夜、また三女の姉の会社の友達が食事にさそってくれました。小さな送別会をしてくれました。私が食べたかったもんじゃ焼きも食べました。皆とても優しく面白い人達です。冬休みに来る時は、また集まって食事をしてくれるそうです。

8月28日私は、福岡に戻る日でした。長女の姉が空港まで見送りに来てくれました。羽田空港は広いので、姉がいなければ迷子になっていたと思います。お別れの時、少し寂しくなりました。福岡の友達に会えることは嬉しいのですが、姉達と別れるのは寂しかったです。姉達には、沢山お世話になり色々な場所に連れて行ってもらって、とっても楽しい夏休みでした。また横浜に行く機会があれば、姉達に会いに行きたいです。

メキシコ福岡県人会  
棚町 ヘラルド

九州大学大学院地球社会統合学府

## この夏のこと

今までにないほど今年の夏は楽しく活動し、学んだ事が沢山ありました。7月は通常の学校の行事に加えて、子弟招へい事業が行われました。県費留学生と各県人会から来た参加者と、10日間ぐらい皆で一緒に過ごし、新しい友達ができ、彼らと話をすると、様々な移住者やその生活や経験、意見、各県人会のを知ることができました。海外の福岡県人会と福岡県との間の絆が強くなるいい経験だったと思います。

子弟招へい事業が終わってから、僕が出席する大学院の活動もほとんど終わったので、8月の夏休みのための準備をしました。まず、福岡県糟屋郡篠栗町の明石寺で3日間、九州大学邦楽部の夏合宿に参加して、グループで演奏の練習をした後で、部内演奏をしました。皆が暇な時間は、ゲームや飲み会をして遊びました。邦楽部では留学生があまりいないので、大学の他の活動と比べても、特に好きな時間です。

旅行もしました。県費留学生、メキシコ人、日本人、他の国の友達と一緒に楽しく旅行しました。観光したり、名物料理を食べたりしました。それに僕が今大学で研究するテーマに関する場所、物などを直接知る事ができました。日本は自然を本当に楽しめる国で、大阪市の海遊館、岡山市の後樂園、埼玉市の大宮盆栽美術館及び富士山の近くの田貫湖、川口湖、白糸の滝等で自然を楽しむことができました。また、僕は日本の宗教があまり分かりませんが、神社やお寺へ行きました。美しい建築と歴史的に重要な所を知るためにこうした所へ行ったのも良い学びになりました。大昔に建てられた島根県の出雲大社と大阪市の四天王寺、世界的にも有名な京都市の鹿苑寺と清水寺、大仏のある奈良市の東大寺、鎌倉市の高德院、鳥居が驚くほどいっぱい並んでいる伏見稲荷大社、徳川家康が埋葬されている静岡市の久能山東照宮です。芸術に興味があるので、東京国立博物館、岡山県の大原美術館、静岡市東海道広重美術館等を訪ねました。また、凄く近代的な建物も見ました。例えば、モード学園コクーンタワーとスパイラルタワーズ、東京スカイツリー、岐阜県のソーラーアーク、お台場のフジテレビのビルです。更にユニバーサル・スタジオ・ジャパンと東映太秦映画村等にも行って観光を楽しみました。日本で科学の歴史を学んでいる学生として、学問に関係する所へ行きたかったので、伝統的な町の風景が残る埼玉県の川越市や、岡山県の倉敷市、大阪、島根県の松江や駿府城、科学と技術について学ぶことができ、世界最大プラネタリウムのある名古屋科学館、東京の日本科学未来館、列車の歴史やその進歩について説明されている埼玉市の鉄道博物館へ行く事もできました。特に、日本の技術の歴史でも偉大な、群馬県の富岡製糸場、倉敷市の倉紡記念館、島根県の石見銀山遺跡を訪ねました。帰りには、値段は高いけれど、時間も短時間で済む本当に便利な、最新の新幹線N700系Aで帰りました。

まだ日本で僕が行きたい面白そうな所が沢山ありますが、この夏で日本をかなり知ることができたと思います。

アルゼンチン福岡県人会  
津留 アナ パウラ

九州大学大学院歯学府

## この夏のこと

まずは、子弟招へい事業がありました。このプログラムは、参加した子供達がどこの国から来たかが分かり、日本にもっと関心を持つことができるので、参加者にとって興味深いものだと思います。日本の文化に触れ、日本について知識を深めることができる大変良い機会だったと思います。私がいずれ自分の子供を育てる時、同じことを経験させてあげたいと思いました。本当に良いプログラムでした。

夏休みの間にいろいろなところに遊びに行きました。8月8日から8月21日まで旅行をしました。8月8日から10日は、私は大学の先生たちと鹿児島県で行われる学会の懇親会に行きました。最初の日、先生たちと一緒に鹿児島県まで車で行きました。その間いろいろなことについて話をし、楽しい時間を過ごしました。鹿児島駅で私たちは教授と合流して、みんなで昼ごはんを食べて、学会の懇親会に行きました。その日は旅が長くて疲れていたの、私はセミナーで寝てしまいました。私が本当に興味をもったセミナーは次の日でした。セミナーはホテルで行われ、皆そのホテルに泊まりました。夜ご飯はセミナーの人たちと一緒に食べて、私はお酒を飲めないけれど、先生たちはすごく飲んで、温泉に入りました。次の日はセミナーが早く終わりました。教授は鹿児島生まれなので、彼が住んでいたいくつかの場所を案内してくれました。鹿児島大学歯学部も訪問して、桜島を見に行きたかったけれど、台風が予想されていて船が出ないので、桜島には行けませんでした。教授は福岡に戻らないといけなかったの、皆で駅まで見送りに行きました。その後、他の先生たちと一緒に知覧に遊びに行きました。知覧で武士の町を見ました。静かで美しい街だとおもいました。知覧の町に水が流れて鯉がいることに驚きました。次の日は鹿児島南部の枕崎市に行き、海で遊びました。海でブドウとスイカを食べて、海に入りました。アルゼンチンでは海がちょっと汚いので、あまり海に入りません。日本の海はとてきれいです。水もきれいで、足を入れるとハッキリ見えます。先生たちはダイビングにも連れて行ってくれるつもりでしたが、私は海の中に長い時間泳ぐ事ができないので、魚を見ることが出来ませんでした。福岡に戻る前に私たちは、温泉に行きました。そこには昔、塩の工場があったそうです。温泉に入る前に砂蒸し温泉があったので、私たちは砂の中に横たわり、上から熱い砂をかけてもらい、リラクゼーション気分ですっきりしました。凄く熱かったけれど、あとから体がきもちよくなりました。その夜は大変でした。次の旅行のために洗濯をして、荷物を準備しなければならなかったからです。

次の朝には、県費留学生の棚町ヘラルド君と一緒にバスで広島までいきました。前日の夜、私は1時間しか寝れませんでした。でも広島まで5時間かかるので、その間に少し寝ることができました。広島では、広島平和記念公園と博物館見学をしました。いろいろな感情を持ちました。



次の日は、出雲市まで石見銀山を見に行きました。私たちは石見銀山へ行くために自転車を借りました。石見銀山の中はすごく寒かったです。鉱山労働者が過ごしていた空間が印象的でした。その隣の寺を見て、ヘラルド君と一緒に、遺跡を見るために山の中を1.2キロ歩きました。歩かなければいけない距離の長さに失望しましたが、場所は静かでした。石見銀山の周辺は、伝統的な都市として特徴づけられるだけあって、静かで、好きな場所のひとつでした。次の日は松江市で一番古い寺を見に行きました。すごくきれいでした。ヘラルド君は日本の歴史が好きなので、私に説明をしてくれました。一緒に旅行をしてとてもよかったです。別の博物館にも行きました。この3日間、たくさん歩きました。

8月13日、私たちは大阪で県費留学生の黒木なつみさんとタケシタクリスティさんと合流しました。大阪にいる間は、なつみさんのおじさんの家にお世話になりました。彼らは、私達が、自分の家にいるかのように心地よく感じさせてくれました。次の朝クリスティさん、なつみさん、なつみさんのいとこと一緒にユニバーサルスタジオジャパンに遊びに行きました。私は初めて遊園地に行きました。子供の頃に戻ったように感じました。少し気分が悪くなりましたが、楽しかったです。より多くの楽しみを感じることができたのは、県費留学生の友人と一緒に旅行することができたからです。大阪の水族館にも行きました。人が多かったので全てのに水槽を見て回ることができませんでした。

奈良県では東大寺を見ました。私たちは鹿を見に行きましたが、鹿はなぜかすぐに私だけを攻撃してきました。私が食べ物を持っていると勘違いしたとのだとおもいます。最初は怖かったのですが、後は楽しかったです。

京都では、私の友達の家にとまりました。アルゼンチンで出会った日本人の友達です。彼はスペイン語を勉強するために、アルゼンチンに行っていました。私たちと話をすることで彼のスペイン語の練習にもなりました。8月16日の夜は、送り火を見ました。8月17日には、二条城、清水寺金閣寺、映画村(時代劇の撮影のセットが公開されている場所)が一番よかったと思います。昔の人々がどのように生活していたのかを体験でき、学ぶことができ、楽しかったです。

名古屋では、名古屋市科学博物館に行きました。見学するためのものが多くありました。たとえば「ドラゴンボールで科学する！」の展覧会、プラネタリウム、竜巻シミュレータなどです。

最後は富士市まで行きました。富士山には登れなかったけれど、近くで見ることが出来ました。周りの景観を楽しみました。私は滝の冷たい水に入りました。足が痛かったけれど、その日が暑かったので、気になりませんでした。

旅行中に、私は友人と再会し、新しい友達もできました。私たちは時には、けんかをすることもありますが、そのあとは疲れてけんかした事も忘れて、笑っていました。けんかや笑いを通して、私たちは多くのことを学ぶことができました。忘れられない経験です。このような時間が終わってほしくないと思いました。このような機会を与えて下さって、どうもありがとうございました。